

令和5年度授業改善推進プラン

- (取組内容)
- ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
 - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
 - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

特別支援教室

★教科・観点について
 生徒の状況などを分析し記入する。 <○成果 ▲課題>

特別支援教室教育目標	1学期		2学期		3学期
	課題分析	具体的な改善策	課題分析（授業改善・評価）	具体的な改善策	改善プランの評価・来年度にむけて
困難の改善を目指しクラスで力を発揮しようとする。	○困難さを感じている状態であることに気付くことができた。 ○困難の改善を目指すための方法を前向きに相談している。 ▲改善を目指そうとする気持ちが安定しない。	スモールステップで改善できている状態であることを自覚できるよう、言葉かけの適切な内容とタイミングを心掛ける。	○困難の改善を目指すために、できることから行動に移すことができた。 ▲苦手意識が強いことへの取組が消極的である。	苦手意識が少しでも軽減するよう、特別支援教室の活動で実践して自信をつけていく。	苦手意識のあることでも、特別支援教室の活動では前向きに取り組むことができた。 在籍学級での実践につなげていくために、他教員と連携していく。
自己理解を深め自分を肯定的に受け止める。	○教員からの肯定的な言葉を受け止められるようになってきた。 ○授業の振り返りの際に、できたこと・わかったことに目を向けられるようになった。 ▲必要な支援をもとめられないことがある。	他者に頼ってもいいことを理解させ、頼ったときに支援してもらえる経験を積めるようにする。	○教員からの肯定的な言葉を受け止めた上で、生徒自身が自分の言葉で頑張りを自己評価できた。 ○支援をもとめる必要性を理解できてきた。 ▲支援のもつめ方は理解できているが、実行することが難しい。	どこにつまずきがあって支援をもとめられないのかを一緒に分析する。必要な配慮ができるよう、教員の対応を共有する。	自己理解を深める活動に意欲的に取り組むことができた。支援をもとめることを実行できるよう、具体的な方法を確認した。
望ましい人間関係を築こうとする。	○人と関わる上での自分の課題に気付いてきた。 ▲人と関わることへの消極的な気持ちが強い。	人と関わる上で苦手なこと・できそうなことを整理する。	○人との関わりがもとめられる活動の中で、苦手意識が強いことでも、特別支援教室の中では取り組むことができた。 ▲グループワーク等をできる力があるが、不安感が強くて消極的である。	不安感が軽減するよう、様々な場面でのやりとりを練習する。	場面を設定したやりとりを通して、練習をすることができた。 不安な点について本人の思いを受け止めながら改善を促していく。
健康な心と身体で過ごそうとする。	○生活リズムの振り返りをしている。 ○生活リズムを整えると健康状態も整うことを理解できた。 ○心の安定に向けた活動の必要性を理解できた。 ▲心の不安定さが大きい。	会話をしながら自分の状態を知っていく。	○生活リズムに安定感が出てきた。 ○心が不安定なときの理由等を自己分析できた。 ▲健康な状態でないときに、自分の状態を伝えられないことがある。	伝える必要性を感じられるよう、理解を促していく。	生活リズムの乱れが体調に影響を与えることを理解できた。
研修課題（キャリア教育に関連した教科としての取	研修課題に対する教科としての具体的な実践方法	1学期の成果と課題	1学期の結果を踏まえた具体的な実践方法及び追加内容	2学期までの成果と課題	1年間の成果と今後の課題
・生徒の主体性を育む授業 ・地域や小中との連携を生かした取組	目標の確認を丁寧に行う。	自分が何を目標として特別支援教室で活動しているかを理解できた。 目的意識を継続することが難しい。	目的意識を継続できるよう、生徒と確認する。	目的に対して、どんな力が身に付いたかを振り返ることができた。	生徒が自己理解を深められたことで、目標をもってサポートルームの授業を受けることができた。